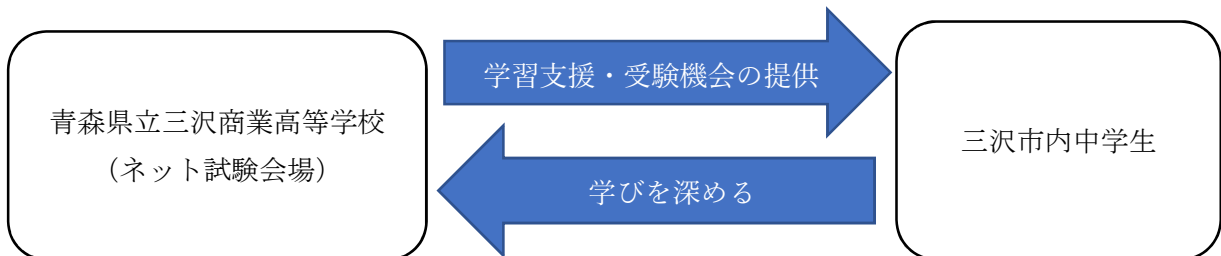


「中学校との連携した会計教育の取組」

青森県立三沢商業高等学校

本校では社会の実態や生徒のニーズに対応し、毎年地域と連携した事業に取り組んでいる。昨年度は課題研究の一環として中学生に対し簿記教室を実施し、中学生や保護者に興味を示してもらう活動を行った。昨年度、中学校から企業会計の学習が開始となったことから、三沢市教育委員会と連携してさらに中学校の学習支援を進めたいと考えた。

現在、青森県立三沢商業高等学校はネット試験会場となって3年目。今後、日商簿記検定初級を受験できるように登録し、中学生および興味のある保護者等にも受験機会を提供したいと考えている。



人は、会社に限らず、学校、病院、役所、政党などいろいろな「組織」で活動する。その組織活動は、金集め、人材集め、調査、宣伝、製造、開発、営業など、活動をする際に「資金」は必ずつきまとう。

「会計」は、「勘定科目」という「道具」を使って、複雑多岐にわたる組織活動を「分類・整理する手続き」である。「会計」の手続きで整理された、複雑多岐にわたる組織活動は、わかりやすくまとめられ、将来のための判断に使われる。

「会計」の大切さは、「数字の作り方」ではなく、「作られた数字の意味を理解して、判断に活かす」ことである。

中学校社会科の新学習指導要領には、適正な「会計情報」の提供や活用により、企業経営が成立することを理解させるよう求めている。また高校で新たに設けられた必修科目「公共」でも、「企業会計」「会計情報」に触れながら、経営への関心を高める指導を求められている。

以上のことから本校は、中学生に対し早期から「会計」に興味をもってもらえるような活動や学習支援を通して、将来は地域社会に貢献できる人財の育成につなげていきたいと考えているため、「中学校との連携した会計教育の取組」を推進する。

三沢市立堀口中学校

東奥日報 R5. 7. 27



デーリー東北 R5. 7. 21



おいらせ町立下田中学校



三沢市立第二中学校



おいらせ町立木ノ下中学校



東北町立東北中学校

